

大門町会

大門町会は、赤塚田んぼ（現高島平）を見下ろす高台に位置します。束穂（稲の束）投げ、家族が最後の田植えをした記憶が六十数年前の出来事でした。

当時は、町会員も100件を欠ける町会と記憶しております。田んぼが無くなり、高島平団地に、当地も大門、赤塚8、7丁目となり、今では、1,000世帯を超えています。下赤塚は、鎌倉、室町時代の書物に記載されている赤塚六カ村の一つでもあり、当町会には歴史を伝える史跡も多く、延徳4年（1492）に千葉自胤が寺領を寄進して中興したという曹洞宗の寺院で、千葉一族や鎌倉時代の僧了雲の墓があり、天保12年徳丸が原で西洋砲術に訓練を行った高島秋帆の顕彰碑がある松月院。創建は長禄年間といわれ赤塚城の鬼門除けに祀られた赤塚諏訪神社では、千年以上の歴史のある史家の荘園ゆかりの国指定の重要無形文化財（赤塚田遊び）や区指定無形民俗文化財（獅子舞、四つ竹踊り）、悪霊退散を祈念して、愛知県津島神社から御霊をいただいた天王祭、秋春の彼岸、旧盆の留守番と十夜が行なわれています。

また、赤塚滝不動講が掃除と祭事を行う、水の枯れない赤塚不動の滝もあります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



赤塚田遊び